



平成 21 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 古河スカイ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉原 正照
 (コード番号 5741 東証第 1 部)
 問合せ先 経理部長 要 隆明
 (TEL. 03-5295-3800(代))
 当社の親会社 古河電気工業株式会社
 代表者名 取締役社長 吉田 政雄
 (コード番号 5801)

業績予想の修正、特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し、 および剰余金の配当（期末配当）予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 2 月 9 日に公表した業績予想を修正するとともに、特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し、および剰余金の配当（期末配当金）の予想の修正について下記のとおりお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	229,500	1,600	100	△1,900	△8.37
今 回 修 正 予 想 (B)	228,500	300	△900	△11,900	△52.40
増 減 額 (B-A)	△1,000	△1,300	△1,000	△10,000	—
増 減 率 (%)	△0.4	△81.3	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	253,046	13,734	11,858	6,399	28.18

2. 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	203,000	400	△900	△2,300	△10.13
今 回 修 正 予 想 (B)	200,000	△700	△1,800	△11,600	△51.08
増 減 額 (B-A)	△3,000	△1,100	△900	△9,300	—
増 減 率 (%)	△1.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	226,171	11,714	10,327	5,119	22.54

3. 修正の理由

世界経済悪化の影響により事業環境が一層厳しさを増す中、緊急対策として固定費等の削減をはじめとした諸施策を実行し収益改善に努めてまいりましたが、低価法による棚卸資産の評価減や一部固定資産の減損処理、また繰延税金資産の取崩しを行なった結果、当期業績は前回予想を下回る見込みとなりました。

4. 特別損失の計上

経営環境の著しい悪化を受け、収益性の低下している一部の固定資産について減損損失 32 億円を計上いたします。

5. 繰延税金資産の取崩しについて

当期の業績、および厳しい経営環境を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について精査した結果、当期末において65億円を取崩すこととします。

6. 剰余金の配当（期末配当金）予想修正について

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年2月9日発表)	4円00銭	未定	未定
今回修正予想	—	2円00銭	6円00銭
当期実績	4円00銭	—	—
前期（平成20年3月期）実績	4円00銭	4円00銭	8円00銭

修正の内容

当社は配当につきましては、利益還元の重要な施策と位置づけ、業績に対応することを基本方針としております。当期につきましては、昨秋以降の急激な環境悪化と今後の事業環境に鑑み、期末配当予想を1株当たり2円00銭とすることに修正いたしました。

(注)上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上